# （様式２）　　　　　　　　　　　　　（２号・３号）主治医→保護者→市　（1号）主治医→保護者→保育所等

医療的ケア実施に係る主治医意見書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童氏名 |  | | 生年月日 | 年　　　月　　　日  （ 満　　 歳 　　か月 ） | |
| 児童住所 | 八戸市 | | | | |
| 受診状況 | □ 定期（ 年・月・週　　　　回）　　　　□ 不定期 | | | | |
| 診断名又は診断内容 |  | | | | |
| 主症状 |  | | | | |
| 既往歴 |  | | | | |
| 現在までの治療の内容、期間、経過 |  | | | | |
| 必要な  医療的ケア | * 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引 * 気管カニューレ内の喀痰吸引 * 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 * 経鼻経管栄養 * 導尿（看護師による導尿） * インスリン注射 * その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | |
| 服薬状況  ※処方箋添付可 | □ 無 | □ 有 | 薬剤名 | |  |
| 服薬目的 | |  |
| 服薬方法 | | １日　　　回（朝・昼・夕）  □ 食前　　　分  □ 食間　　　時間  □ 食後  □（　　　）時間おきに  □ 頓服（　　　　　　） |
| 今後の方針 |  | | | | |

※裏面も御記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保育施設における集団保育の可否 | 保育施設では，保育士１名につき複数の乳幼児を保育する集団保育を実施しており、午睡、食事及び集団での遊び等、保育者及び他児と接触する機会が多くあるため、転倒やケガ等の事故、感染症への罹患の全てを防ぐことは難しい環境にあります。  こうした環境の中で日常生活を過ごすことについて、当該児童の身体的、心理的及び精神的な安全性の観点から、次のとおり判断します。  □ ①保育施設における集団保育は可である  □ ②保育施設における集団保育は不可である | |
| 保育施設での生活上の配慮及び  活動の制限 | 項目 | 内容 |
| 食事 |  |
| 排泄 |  |
| 移動 |  |
| 活動の制限 | ※別紙「保育施設における活動のめやす」を参考にしてください。  □ 基本的生活は可能だが運動は不可  □ 軽い運動には参加可  □ 中程度の運動には参加可  □ 活動の制限はなし（強い運動にも参加可） |
| 予想される緊急時の状況及び対応 | 状態・頻度 |  |
| 対応 |  |
| 緊急搬送の  目安 |  |
| その他 |  | |

八戸市長　行

# （様式２）

　　　年　　　月　　　日

医療機関名

医療機関住所

電話番号

医師署名